

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（企画 担当）	単価の動き	・晴れの日が多く客足が好調だったことに加え、北海道物産まつりや運動会・行楽等のイベントによる購買動向の好調さ、台風到来による野菜入荷薄による相場高等によって客単価の増加があり、売上は好調に推移している。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・鹿児島中央駅の駅ビルが開業し、同地区は予想以上ににぎわった。当地区では、商店街活性化に関する国土交通省の社会実験を行っており、観光客や一般消費者が日増しに増加している。中央地区からの消費流出が危惧されているが、来街者の回遊性を増加させる工夫をしなければならない。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・以前は客数の伸びはあるものの客単価が回復しなかったが、最近になって前年を上回るようになった。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・来客数がかかなり増加している。競合店舗で地元球団優勝セールがなかったことが要因である。買上点数、単価はそう変わっていない。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・食料品は台風による青果の相場高により、前年比120%である。食料品全体としては同104%で推移した。しかし衣料品は夏物、秋物とも不振で同69%となり、トータルでは94%で厳しい状況である。
		スーパー（経 理 担 当）	販売量の動き	・野菜の高値の影響等により、食品関係を中心として全体的に一品単価・販売量とも前年を上回っている。また、前年は競合店で地元球団優勝セールがあり、売上が落ち込んでいたため、その反動もあったようだ。
		コンビニ（経 営 者）	それ以外	・競合店の出店等により前年割れがずっと続いていたが、減少幅がだんだん縮まってきた。
		家電量販店（総 務 担 当）	販売量の動き	・薄型テレビ、デジタルカメラ等が相変わらず好調である。
		都市型ホテル （副 支 配 人）	販売量の動き	・団体客、個人客ともに申込は多い。ただし単価は下がっている。
		通信会社（総 務 担 当）	販売量の動き	・ここ数か月ほとんど横ばいであるが、若干販売量が上がっている。
		ゴルフ場（従 業 員）	来客数の動き	・入場者数が昨年より1割くらい多い。韓国からの客が前年より1か月早く予約が入っている。
	美容室（店 長）	お客様の様子	・職安は人があふれていて、仕事がないと言いながら、美容室に来る客は財布のひもが少し緩くなっている。	
	変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・最近近隣に大型ディスカウントショップができたので、当駅前商店街に来る客が激減した。
		商店街（組合職 員）	お客様の様子	・商店街を中心に市民祭りが行われ、大勢の来街者があったが、売上にはつながっていない様子であった。
一般小売店〔青 果〕（店 長）		お客様の様子	・台風等の影響で商品は高値が続き、客は必要な物は買っているが、そうでないものは買わない。	
百貨店（営業担 当）		お客様の様子	・毎月の台風接近などの心理的要因に加え、野菜等の物価高により、消費意欲が減退している。例年では友の会が満期になることから金券での購買が多かったが、今年は金券への交換率が低く、売上につながらない。	
百貨店（販売促 進担 当）		お客様の様子	・台風等の天災で、小売業は大打撃を受けている。景気が良い時であれば、天災日の減少を他の日で取り返すが、現在はそうでない。客は、天災に限らず購買意欲自体を失っている。	
百貨店（業務担 当）		来客数の動き	・平日の集客数も良いとは言えないが、土日祝日が前年を大きく割り込んでいる。町全体で集客が減少しており、消費減退がうかがえる。	
百貨店（営業企 画担 当）		販売量の動き	・大型量販店の出店から1年を経過したものの、大型台風の襲来に加え、地元球団優勝セールができなかったことにより、依然として前年に届かない。一方で、健康や美容といった、客のニーズに密着した仕掛けは好調で、販売高は増加している。	
スーパー（経 営 者）		単価の動き	・先行きが不透明なため、ボーナスが期待できないのか、買い渋りが起こっている。	

スーパー（店長）	単価の動き	・衣料品が引き続き苦戦しているが、食品が台風の被害で単価アップしている。その恩恵がその他の商材に移っている。
スーパー（店長）	単価の動き	・野菜の単価が上がっており、鍋物材料を買う客が少ない。衣料品関係も、気温が高いため肌着や寝具等の買換え需要が落ちている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価が前年比92%と下がっている。一品単価が下がったというよりは買上点数が下がっている。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・低価格志向が全体的に根強い。一部では自分が欲しい商品、買いたい商品は少々高くても購入する動きがあるが、全体的には現状の水準を維持する。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・特に今月は給料日明けの客数が思うように伸びない。各種公共料金の払込みのために来店する客が非常に多く、商品購入に結び付いていない。
コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・スーパーの24時間営業や競合店の出店で大幅に客数が減り、売上が低下している。以前ほどではないが、客の低価格志向が進んでいる。
コンビニ（店長）	単価の動き	・秋は人出も多く、長崎くんちも開催されたため期待していたが、前年と変わらない。
衣料品専門店（店員）	単価の動き	・現在は秋のプロパー時期の真っ最中であるが、気温が高く暖かい衣料が出ない。プロパー時期なのにどこもセールをやっていて、セール品に対しては客の反応はあるが、プロパー商品の出足が悪く、苦戦している。
衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・割引商品は安定的に売れているが、プロパー商品の売上が減少した。毛皮フェアを開催しているが、売上は前年並みであるものの、高額品の売上が悪い。
家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・オリンピックや猛暑の影響後の月であるが、やや低迷している。台風の影響である。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・木工祭りを開催し、メイン会場の来客数は前年並みであったが、協賛会場である各販売店への来客は年々少なくなっている。イベント後も台風の影響で客足が鈍い。
その他専門店【書籍】（店長）	販売量の動き	・台風による売上減少はしかたないが、売上は長期的に低迷の様相を示している。競合店が多くなったことが原因である。
その他専門店【医薬品】（従業員）	お客様の様子	・チラシを打っても来店客数は今ひとつ伸びない。しかし、客にとって価値のある商品に対しては、価格にとらわれず買ってもらえるようである。
その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	単価の動き	・ガソリンの小売価格は、レギュラー、ハイオクとも原油価格高騰とともに上昇してきた。我々フルサービスのサービスステーションから、価格が安いセルフサービスステーションに顧客が流れると思っていたが、影響はそうでもない。顧客も通い慣れた店舗で燃料油を購買する傾向が強い。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・長崎くんちや学会があり客が入っているが、周りの店の様子はあまり良くない。
高級レストラン（専務）	それ以外	・新幹線開業でここ何か月か上向きであったが、台風の影響で売上がかなり落ち込んでしまった。
スナック（経営者）	お客様の様子	・客の話では、食事までは皆で行くけれど、その後の二次会にほとんど行かなくなっているとのことである。また、接待も少なく、ゴルフ接待でもそのまま現地解散しているという話が聞かれた。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・製造業の設備投資に伴う出張宴会（竣工式等）を受注しているものの、全体的な来客数の動きはまだ良くないと言われている。
タクシー運転手	お客様の様子	・レジャーシーズンに入っているのに、昼夜とも客の動きが悪い。
タクシー運転手	お客様の様子	・気候がいいのでタクシーはあまり利用してもらえない。しかし台風等天候不良の時は若干乗ってもらえるので、3か月前と比べてあまり変わっていない。
観光名所（職員）	来客数の動き	・ゴルフ場の来場者数は2か月連続で前年を1,000人近く割っている。天候のせいもあるが、以前とほとんど変わらない。特に土曜日の客数が減っている。
美容室（経営者）	販売量の動き	・客数は3か月前とあまり変わっていない。年末に向かって少しずつ明るい兆しを感じられるので、売上増につなげたい。地震等の災害が購買を抑えている。

		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場への来場数が減少している。ローン減税が12月で終わるため、客の動きが若干鈍っている。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・分譲のチラシ広告を1万枚打ったが、来客は4名と非常に出足が悪い。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量、来客数ともかなり下がっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・天候の加減で客の動きが悪い。台風情報が早いので、客が用心して出て来なかった。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・度重なる台風で商店街は雨漏りが激しく、来客数が減少している。早仕舞する店も多く、売上に全くつながらっていない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・台風の影響で、青果が今までにない高値で推移している。これが肉や魚等にも影響し、余計財布のひもが固くなっている。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・来客数は3か月前は前年比102%であったが、現状は同96%である。衣料品が、婦人、紳士とも秋物が全般的に不調であるほか、関連する身の回り品も良くない。底上げしているのは食品のみである。台風等による心理的な影響も若干ある。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・前年は地元球団優勝セールが2度あり、かなりの売上があったが、今年の応援感謝セールは全く盛り上がりず、売上も取れなかった。台風の影響もあり、秋物衣料の実売時期として厳しい月だった。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・台風の影響でキャンセルが相次ぎ、かなりの損害となった。それ以外は結構客は入っていたが、最後の週で客足が止まってしまった。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・秋の旅行シーズンが始まったが、台風の影響で直前キャンセルがあった。特に沖縄方面は、悪天候が長引いたため客の動向としては悪くなった。
		旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・台風の影響でキャンセルが続き、国内を中心に前年を下回っている。直前の予約は入ってくるが、1か月以上先の申込は前年よりも少ない。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・年々景気が悪くなっているように感じる。台風や地震等暗い報道ばかりで、客の気分も落ち込んでいる。	
悪くなっている		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今まで景気に左右されなかったスーパーブランドの動きが、ここに来て非常に悪くなってきた。販売量を含めてかなり厳しい状況である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・店頭来客数が全くない。売れても単価も安い車である。いい品物を求めるが、予算が全くない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・台風や雨が多く、買物客、夜の繁華街の客がほとんどない。会社全体の売上も過去最低となった。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鳥インフルエンザ騒動も治まり、輸入物の鳥肉も入ってこないため、特に加工原料の引き合いが強い。10月は原料発生が少ないこともあり、取引先に100%納品できない状態である。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・商業施設の開発も、建築コストがかなり押さえられている関係で、1～2年間はおう盛である。また、中国製品が多く出回っていることから、価格の安い家具が供給過多になりつつあり、その反動が高級家具の需要が増えている。
変わらない		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は受注生産であるが、客先の引き合いの件数が増加傾向にある。
		農林水産業（従業者）	競争相手の様子	・価格はある程度高く設定しなければならないが、その影響で景気低迷が続いており、需要が増えず現状維持が精一杯である。
		繊維工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・中国生産の見直しから国内受注への見直しや追加生産があったものの、相変わらず単価が安い。国内工場も少なくなったために、今生き残った工場は辛うじて稼働している状態と思われ、全体的には良くない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・当社は外食産業向けの受注で補っているが、一般の小売店、量販店、百貨店向けは落ち込んでおり、最盛期にしては苦労している。
	建設業（従業員）	競争相手の様子	・建設業界では、公共工事の減少に加え一般競争入札が大幅に増え、採算面においても大変厳しい状態にある。	

	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・思ったほど出荷がなく、先月の決算の反動もあり荷動きが全く良くない。消費が冷え込んでいる結果である。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・取扱量は順調に増えてきているが、運賃率が低下しており、売上は少し増えた一方、費用も増えている。	
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・衣料品の荷動きがあまり良くない。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・飲食店全般において、売上の伸びが見受けられない。台風の影響もあるが、その影響を除いても前年比を上回る伸びはみられない。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・販売量そのものは以前より若干増加しているが、台風の被害で実質的な稼働日数が減っている業種もある。ガソリン代等の値上げの影響で、収益を圧迫しているところもみられる。	
	経営コンサルタント	それ以外	・受注の内容が、リストラや合理化の内容のほうが多い。	
やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・台風の影響で、野菜の価格は全般的に高くなっている。しかし、ビニールハウスの倒壊・浸水・破損等が発生しており、生産能力の低下は避けられない。	
	食料品製造業（専務）	それ以外	・台風・地震等の自然災害の影響で野菜等の値段が高騰し、買い控えが起こっている。	
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・秋口に入り需要は大幅に回復すると期待されたが、まだその兆候が見えず、プロジェクトの遅延、取消しが散見される。	
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連、コネクタ関係で全般的に不透明さが増している。大手ユーザーに関しても非常にムラが出ている。また、半導体関連全般的な装置関連も停滞がみられる。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・鋼材等の材料の価格が上がったにもかかわらず、販売価格は上がらない。	
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・酒、ビールの売上も悪くなっており、芋焼酎が良いだけで、後は下がっている。	
	その他サービス業〔物品リース〕（役員）	取引先の様子	・度重なる台風被害から、新規設備投資への意欲が低下している。新規案件も大幅に減少している。	
悪くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・造船業は4万～12万トンの外航船は戦後最大の受注枠を抱えているが、漁船を中心とした500トン未満の内航船は発注がなく、非常に悪い。	
	輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が激減したために、規模を縮小せざるを得なくなった。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・営業職を積極的に派遣採用し、後に紹介予定派遣として社員登用したいという会社が増えている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・企業から人材を紹介して欲しいとの督促が増えている。会社によっては求職者情報の提供を求める等、雇用の需要増加もみられる。
変わらない	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・福岡都市圏の求人数も衰えを見せないが、九州域内地方都市における求人数も福岡以上に増加している。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・当社が発行する求人情報誌の取扱求人数は前年を上回ったまま好調に推移している。市場も前年対比で20%ほど伸び、その率はほとんど変わらなく推移している。	
	求人情報誌製作会社（総務担当）	求人数の動き	・求人情報誌の掲載企業数が引き続き上向きである。また、求人フリーペーパーの掲載企業とともにインターネット求人での中途採用も伸びている。新卒採用についても企業の意欲は高まっており、新卒系採用サイトへの参加も順調な伸びをみせているが、伸び率は鈍化しつつある。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求職者数は減少傾向にあるが、求人の増減が不安定である。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・パート求人が全求人約3割を占めている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は伸びているものの、9月の新規求人に占める派遣、請負の割合が50%を超えた。	

やや悪くなっている	学校 [ 専門学校 ] ( 就職担当 )	雇用形態の様子	・ 常用採用の手控え感があり、契約もしくはパート採用への切替えが起こっている。
悪くなっている	-	-	-